



①協賛会場：ぐるっと一周フラワーロード（長島町） ②鹿児島ふれあいスポーツランド（鹿児島市） ③まちなか会場：マイアミ通り修景緑化の取り組み（鹿児島市） ④回遊拠点：志布志港（志布志市） ⑤まちなか会場：軌道敷緑化（鹿児島市） ⑥協賛会場：曾木の滝公園周辺修景緑化の取り組み（伊佐市） ⑦回遊拠点：田皆岬 修景緑化の取り組み（大島郡知名町） ⑧県立吉野公園（鹿児島市）

2011年春 花満開!

鹿児島の花と緑が織りなす雄大な花絵巻



第28回全国都市緑化かごしまフェア
花かごしま2011

3.18(金)
5.22(日)

九州新幹線鹿児島ルートが全線開業となる今年3月、「第28回全国都市緑化かごしまフェア（愛称：花かごしま2011）」が開幕します。

「花かごしま2011」は、県立吉野公園をメイン会場、鹿児島ふれあいスポーツランドをサブ会場として、3月18日（金）から5月22日（日）の66日間にわたって開催されます。「南からの風にのせて！～よかまち、よか花、よか緑～」をテーマに、花と緑に触れあうさまざまなイベントが予定されています。メイン会場・サブ会場以外にも、鹿児島市中心市街地の「まちなか会場」をはじめ、県内各地の公園や民間施設などの「協賛会場」や、駅、港、空港などの「回遊拠点」を県内各地に設けて、県内外からの来場者を心を込めておもてなしするための準備が進められています。

今回の特集では、開幕間近に迫った「花かごしま2011」の取り組みをご紹介します。



南北600kmの県土を有する鹿児島県では、温帯から亜熱帯と植生が広く、さまざまな植物を見ることが出来ます。「花かごしま2011」は、メイン会場、サブ会場を合わせて約900種110万株以上の花や緑で彩られます。

「花かごしま2011」に行ってみよう!

「花かごしま2011」を県内外に広くPRするため、公募により選ばれた2人のキャンペーンスタッフ「フラワーエンジェルかごしま」も、県内外で行われる各種イベントで活躍しています。



フラワーエンジェルかごしま
はるやま なほ
春山 菜穂子さん

子どものころから花が大好きで、フラワーエンジェルには母の薦めで応募しました。今大会は、鹿児島では初めての花と緑の博覧会で、趣向を凝らした展示が数多く予定されています。県内はもちろん、県外からもたくさんの方に来ていただき「本物。鹿児島県」の魅力に触れてもらいたいですね。花、緑などの自然はもちろんのこと、食べ物、温泉と鹿児島には魅力的なものがたくさんあるので、この機会にぜひ堪能していただき鹿児島を好きになってもらえればうれしいですね。

本番まで残りわずかですが、たくさんの方に来ていただけるように、また、訪れた方に「来てよかった」と言ってもらえるように頑張っていきたいです。



フラワーエンジェルかごしま
つじもと あやの
辻本 彩乃さん

県外出身ですが、鹿児島の魅力をもっと多くの方々知ってもらえればという思いで応募しました。フラワーエンジェルになってから、県内外を問わず、たくさんの方を訪れ、「花かごしま2011」をPRさせてもらっています。休みの日には、PR活動に生かせるように県内各地を訪れて鹿児島の歴史や文化などを勉強中です。鹿児島を知り、ますます鹿児島に愛着がわいてきました。

3月には九州新幹線も全線開業し、鹿児島へのアクセスも今まで以上に便利になるので、鹿児島に来たことがないという方にもぜひ足を運んでいただきたいですね。



「花かごしま2011」
マスコットキャラクター
ぐりびー

開催地の人々の参加を積極的に取り入れることで、フェア終了後も参加者が培った知識を生かし、緑化の輪が広がることを目指しています。

全国都市緑化フェアとは

全国都市緑化フェアは、昭和58年の第1回大阪大会以来、毎年全国各地で開催され、今回のがごしまフェアが28回目になります。都市緑化の高揚、都市緑化に関する知識の普及などを図ることにより、緑豊かな潤いのある都市づくりを目的に開催されており、フェアの統一テーマは「緑の街づくり」窓辺に花をくらしに緑を街に緑をあしたの緑をいまつくろうです。

しきさいかん 花みどり色彩館 (展示パビリオン)



「篤姫の庭」



「奄美・植物紀行」

篤姫が過ごした大奥の庭をイメージした「篤姫の庭」や、奄美を愛した画家「田中一村」の作品を通して奄美の自然を紹介する「奄美・植物紀行」などの展示パビリオンです。また、江戸時代に日本をはじめ世界に広がった「キリシマツツジ」や「テッポウユリ」などの植物に関するエピソードも紹介します。

かえん 島の華園



鹿児島に28ある美しい島々の魅力を「アダダン」や「ヤクシマシャクナゲ」などの亜熱帯植物を使用し表現しています。皆さまも、ぜひ鹿児島の島々を旅してください。

サブ会場

鹿児島ふれあい スポーツランド

県民・市民の協働による会場づくり

フェア開催のため、平成23年1月11日(火)～8月31日(水)の期間は一部利用が制限されます。(屋内施設棟、クレー広場、芝生広場、遊具広場については、これまでどおり利用できます。)

鹿児島のまち並みをイメージした広場や、五感を使って楽しめる空間など、遊び心あふれるサブ会場をご紹介します。



もり 遊びの杜



「ぐりぶーの遊び場」をテーマに、花や緑を味覚、嗅覚、聴覚、触覚、視覚の五感で感じられる空間です。入り口近くにある、ぐりぶーの好物の巨大ケーキは、野菜やハーブなどの食べられる植物でデコレーションされています。ほかに、ぐりぶーの鼻を型取ったハンモックからチョウの気分になって植物のにおいを楽しんだり、触り心地の面白い植物に触れてみると、子どもたちも楽しみながら遊ぶことができます。

花広場



緑化された路面電車の軌道敷を歩いていくと、ぐりぶータウン駅が姿を現します。周りには花や緑に彩られた家やビルが建ち並び、車やバス、市電が行き交う未来の鹿児島のまちが広がります。

メイン会場 吉野公園

花と緑が織りなす一大絵巻を展開!

開催準備のため、平成23年1月19日(水)～3月17日(木)の期間は閉園されます。また、撤去・復旧のため、平成23年5月23日(月)～6月30日(木)の期間は閉園されます。

花かごステージ

華道家の假屋崎省吾^{かりやざきしやうご}さんや、園芸家の柳生真吾^{やぎゅうしんご}さんのトークやデモンストレーションのほか、県内各地の郷土芸能(歌、太鼓、踊りなど)や、子どもたちも楽しめるキャラクターショーなど盛りだくさんです。

自治体・企業・団体出展



北は札幌市、南は沖縄県までの全国自治体や県内市町村による手作りの花壇や、企業・団体の手による庭園など趣向を凝らした出展作品が広場を彩ります。

暮らしの庭



「干し大根のやぐら」や黒酢の「壺畑」、「田の神さぁ」を使用し、懐かしい鹿児島の「農」の風景を演出します。

さむらいの庭



桜島を借景にした、枯山水の庭園です。縁側には足湯があり、ゆっくりとした時を楽しむことができます。

南北600kmにわたる広大な県土を、温帯から亜熱帯の花と緑で演出し、併せて歴史・文化など鹿児島の魅力を凝縮したメイン会場をご紹介します。

おごじよの庭

世界のロイヤルファミリーなどにちなんで名付けられた50種類以上のバラを展示しています。中央には、篤姫にちなんで名付けられた新品種のバラ「篤姫ローズ」が展示されています。気品に溢れ凛とした篤姫をイメージした深紅のバラが彩りを添えます。

